

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號五二三第 日四十月六 輯編局報情

週報

時^の立^札

土地がな^いのではな^い
肥料がな^いのではな^い
工夫と汗^のあるところ
都心にも^も麥は^も稔^る

東京都日本橋區昭和通
に於ける農業の発展

血戦相次ぐニギギニア 皇軍鬼神の奮闘

去る四月二十二日、敵はニギギニア西海岸にてあつたが、五月二十七日には更にニギギニア西北側ビアク島に有力部隊の上陸を強行し、これを襲撃つたわが守備部隊並びに航空隊は、その後、海岸沖に機銃火力を増強した。これを迎撃つたわが守備部隊並びに航空隊は、その後、海岸沖に機銃火力を増強した。

部隊は、多数の敵艦船を撃沈する大戦果をあげる上共に、目下激戦中である。なほ、同じく五月中旬、西部ニギギニア、トル河口附近に上陸した有力な敵部隊に対しては、所在のわが部隊及びホーランドイア附近より増援した部隊が、同じく五月二十七日より強襲を反撃。既にその大半を撃滅し、引続き残敵を攻撃中である。しかも、同方向に対する敵の作戦企圖が、

ニギギニアに対するわが部隊を襲撃し、あはよくは比島奪還の進路を、この方面より打開せんとする線を見つて、今後一掃滅化することは想像に難くない。これに対し、ニギギニア方面の皇軍精鋭は士氣よく旺盛、物量を持って一氣に押し切りらうとする敵を、随所に撃滅、鬼神も笑く勇戦を続けてゐる。 昭和 日本海軍

週間點描

大陸に征野四年、支那派遣軍總司令官畑俊六大将は元帥府に列せられ、軍の陣容ますます強まる。 × 先きに河津第一艦隊を率つた皇軍は、さらに江田第六、九隊に迫り、重砲は重砲に響けと轟く。轟く知つたか、わが威力。 ×

「國難に際しては、段々二十五歳の若さには採れませぬ」と、うれしさに語るお百姓さんに東條総理も我が意を得たりと頷く。一粒の麥も、工夫と汗の増産魂に懸る。 × 北原アラク島に全員玉砕して早くも一年。一億同胞の日に、協力部隊に対し勲功の御沙汰あらせらる。國民の憤りは今もなほ湧つて、烈々の闘魂を燃えてゐるのだ。

□ 連立を遂げ、敵軍滅の大いなる奇蹟を刻んで。

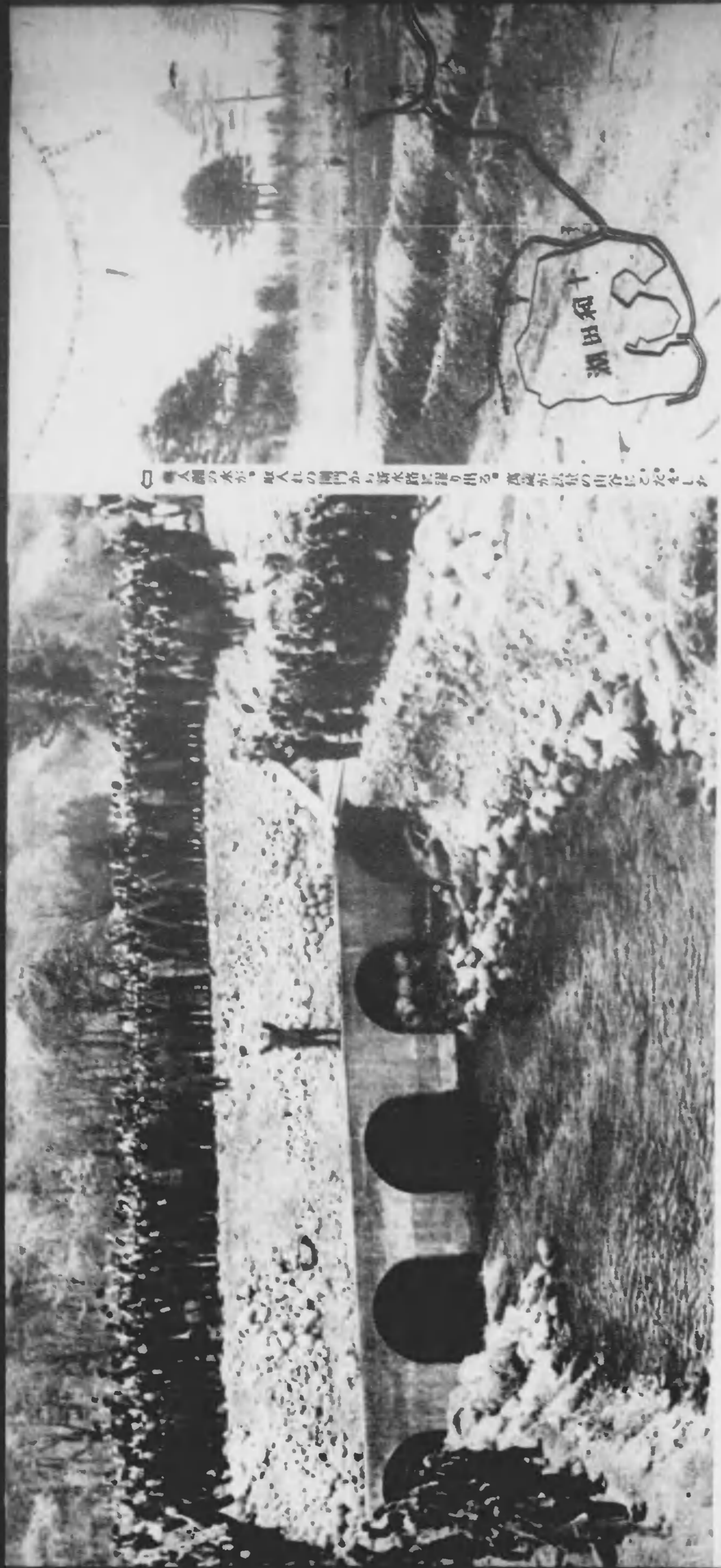


□ 必殺の剣を佩び、密林を抜く □ 機銃めがけて、重砲の材料

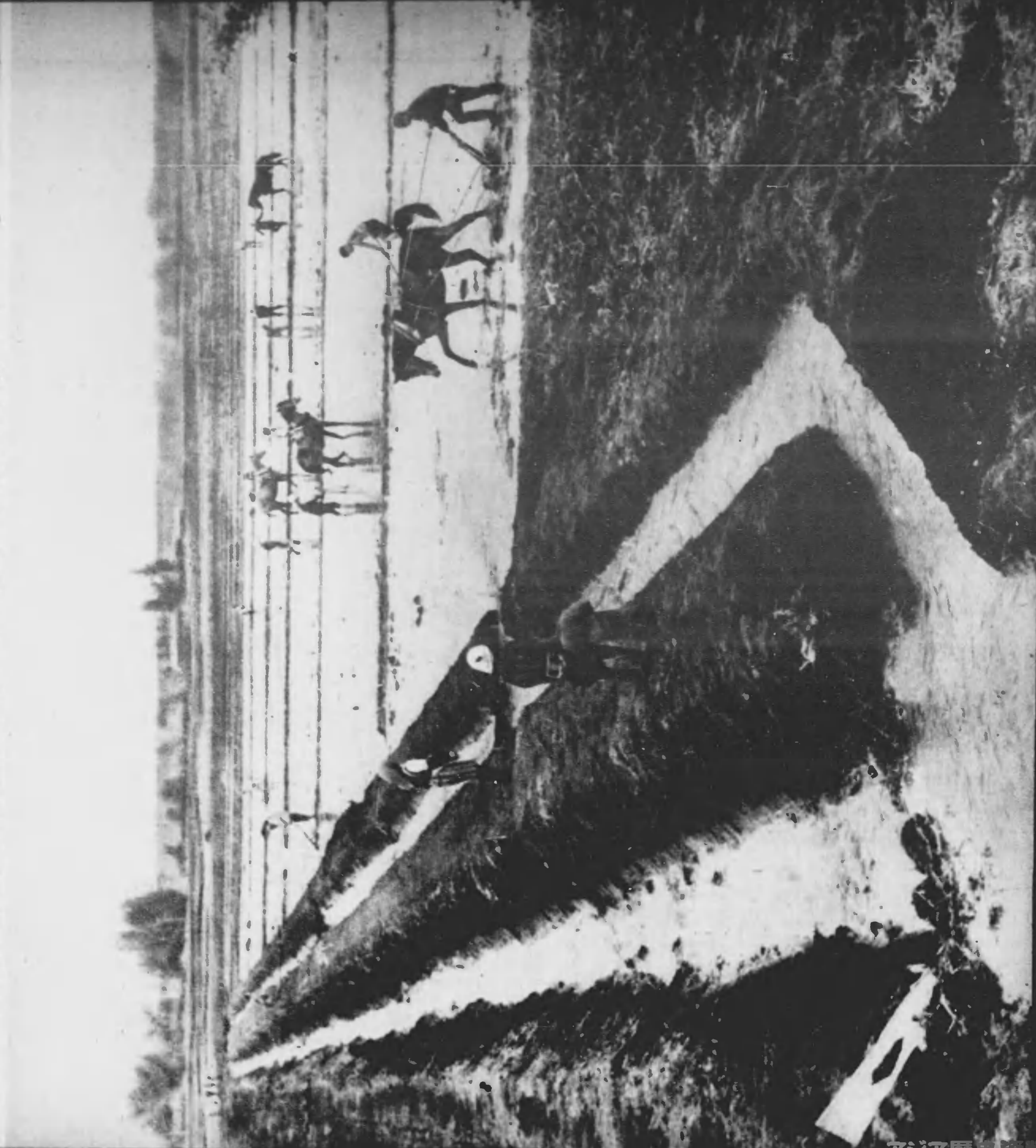


□ 林を掃りに機銃を撃て □ 陣路を急襲と共に



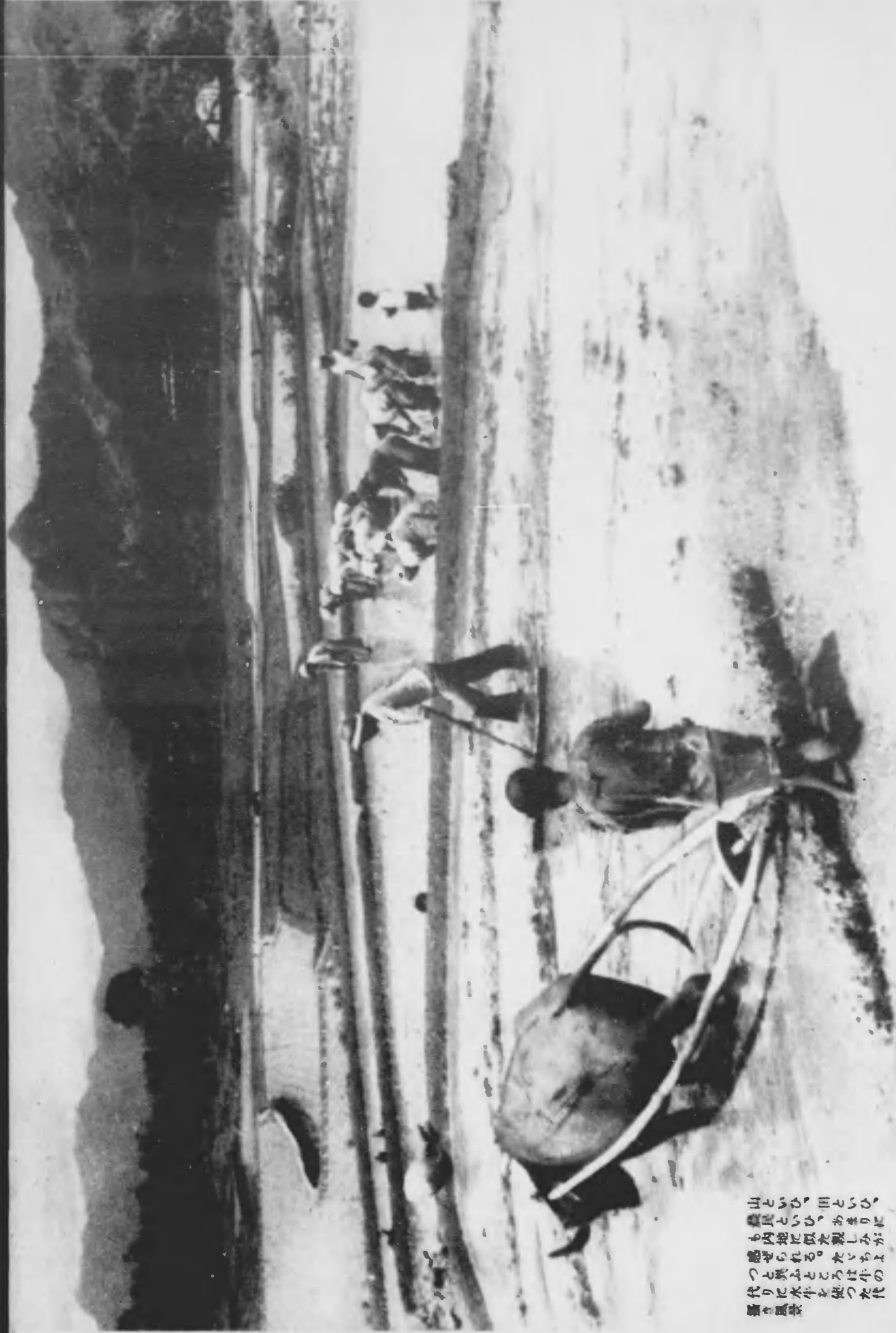


人々の水が、町人の門内から新水路に譲り出る。萬葉歌の山谷に、元々し



スマトラに穂りの凱歌

茶屋 だより



山といひ、田といひ、
 農といひ、あまりに
 も内地に似て親しみが
 感ぜられる。たゞおよ
 つと異なところは牛の
 代りに水牛を使つた代
 無き風景



昔から傳はる種(トコ)は獨特の建築様式を以て有名である。こ
 の建築の多少はそのまゝ家の様式や家具をまねしてゐる

戦ふための糧―内地の食糧増産と呼吸して、いま大東亞各地域で
 は、それへの自給自足から、さらに餘剰米の移出をめざして食糧の増
 産に日夜接がまぬ奮闘を續けてゐる

スマトラ軍政監部でも今回、島内戦時食糧の自給自足をめざして陸軍
 部門に臨時食糧班を設け、移民の導入、農具、藥品の確保及び集荷配給
 機構の整備を行ひ、食糧の劇期的増産に導き出すこととなつた。米作
 の主目標たる耕地の擴張と多収品種の普及も、成果を収めつつあり、
 すでに地域的には内地米作状況に近いものもある



苗代期間は内地より十日前後も長く、だいたい五十日間
 で、毎年一、二月頃に田植を
 行ひ、六月から八月にかけて
 刈入れをする。一般には一毛
 作で、裏作としては玉蜀黍、
 豆類、蔬菜類などがある。原
 産品種は養分分の吸収力が殊
 に強く、殆んど施肥の必要が
 ないとさへいはれてゐる

苗代期間は内地より十日前後も長く、だいたい五十日間
 で、毎年一、二月頃に田植を
 行ひ、六月から八月にかけて
 刈入れをする。一般には一毛
 作で、裏作としては玉蜀黍、
 豆類、蔬菜類などがある。原
 産品種は養分分の吸収力が殊
 に強く、殆んど施肥の必要が
 ないとさへいはれてゐる



苗代期間は内地より十日前後も長く、だいたい五十日間
 で、毎年一、二月頃に田植を
 行ひ、六月から八月にかけて
 刈入れをする。一般には一毛
 作で、裏作としては玉蜀黍、
 豆類、蔬菜類などがある。原
 産品種は養分分の吸収力が殊
 に強く、殆んど施肥の必要が
 ないとさへいはれてゐる

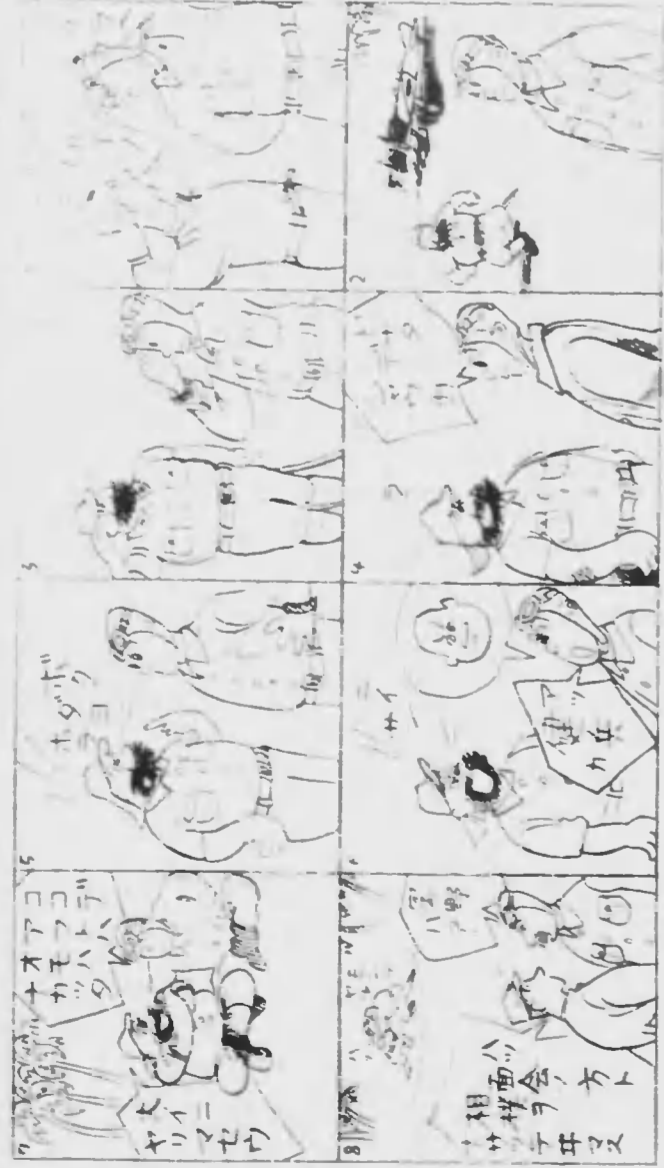


苗代期間は内地より十日前後も長く、だいたい五十日間
 で、毎年一、二月頃に田植を
 行ひ、六月から八月にかけて
 刈入れをする。一般には一毛
 作で、裏作としては玉蜀黍、
 豆類、蔬菜類などがある。原
 産品種は養分分の吸収力が殊
 に強く、殆んど施肥の必要が
 ないとさへいはれてゐる



苗代期間は内地より十日前後も長く、だいたい五十日間
 で、毎年一、二月頃に田植を
 行ひ、六月から八月にかけて
 刈入れをする。一般には一毛
 作で、裏作としては玉蜀黍、
 豆類、蔬菜類などがある。原
 産品種は養分分の吸収力が殊
 に強く、殆んど施肥の必要が
 ないとさへいはれてゐる

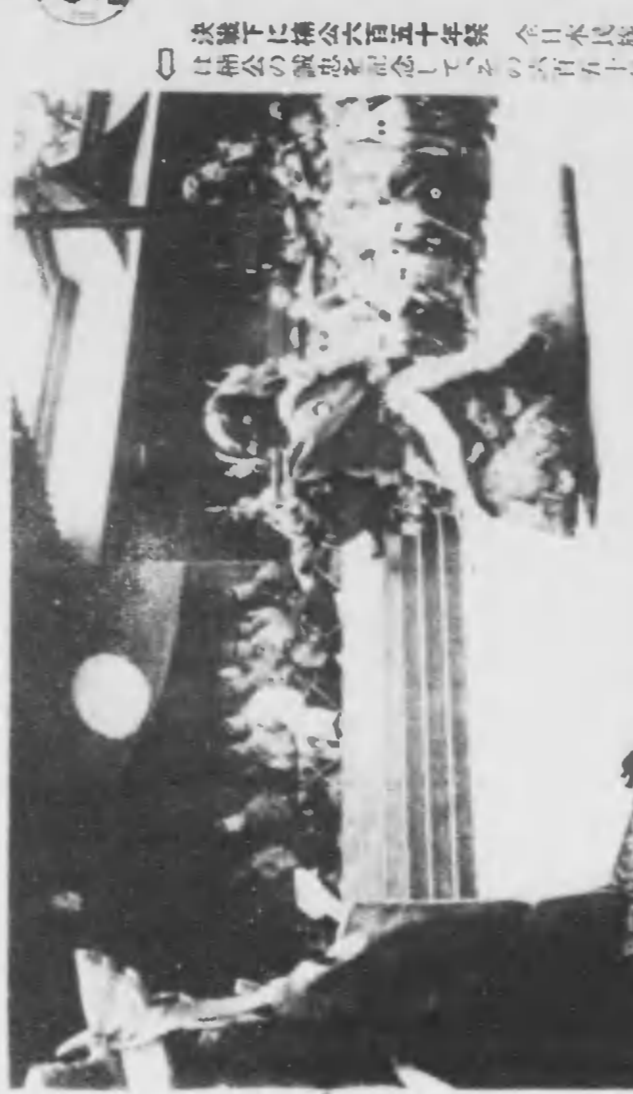
決戦兄弟 第17回 稲山隆一



おかしな話

問題 一家の家では、昨夜の雨で洗濯機が壊れたので、おかしな話... (A story about a broken washing machine and a character named 'おかしな話').

菊水の翼工場



仰ぎみる菊水の郷土河内、七半機織物水神を主のまゝ、同志血盟のもとに傳統百年の酒造業の庇護を以て、航空機で、その利益の府庶を株主に配當し、残りすべてお國に献増産に奮闘してゐる工場がある。石田英男氏を發起人とするといふ従来の企業とは全く趣のちがふ特異な工場である。



僕は空へ君は海へ



僕は空へ君は海へ... (Lyrics of the song: 僕は空へ君は海へ、世界をめぐつて見ても、行かう行かうと行くぞ...)

（昭和五年五月五日）